

# 寿都町のみなさまへ

4月14日に行われました「寿都町対話の場」での議論を踏まえて、現在、町と原子力発電環境整備機構（NUMO）では、会則の修正案等を準備中です。

次回の開催については、決まり次第、町民のみなさまにお知らせいたしますが、前回の議論の中で、「対話の場」の位置づけなどについて町が町民にしっかりと説明すべきではないかといった趣旨のご意見もいただきましたので、今回、文献調査や「対話の場」に対する考えや期待することについて、あらためて町長に伺いました。



## ■文献調査を検討したきっかけ

### ○エネルギー政策を勉強する中での発見

2019年（令和元年）度から議員と産業団体の代表者でエネルギー勉強会を開始し、洋上風力発電推進の地域振興へのメリットを見出す一方、わが国のエネルギー政策において、高レベル放射性廃棄物の最終処分が、解決しなければならない重要な課題となっていることを知りました。

### ○少子化、コロナ、胆振東部地震・・・町の将来をどう見据えるか

町の人口減少や財政状況、いまだ収束が見通せない新型コロナウイルスの感染拡大が、地域経済・地域社会に大きな打撃をもたらし、今後の町政運営に大きな影響をもたらすことを心配している折、文献調査で得られるデータが、胆振東部地震（2018年9月6日発生）を教訓とした地盤の安全性の確認に寄与する可能性や、さらには、文献調査による交付金が、地域の振興発展に大きく寄与することに着目しました。

## ■「対話の場」の位置づけ

### ○将来の寿都のあり方は全町民で共有できる課題、それを町民主体で議論するきっかけに

地層処分事業には賛否も含めて様々なお考えがあるものと思います。ただ、将来にわたって自分たちが暮らしてきた寿都をどうしていきたい。これは全町民の関心事と思っています。

その意味で、「対話の場」は、地層処分事業について賛否を問う場ではなく、将来に向けたまちづくりの観点を踏まえながら、みなさん一人ひとりの地層処分事業に対する考え方や向き合い方を考えていただけるよう、自由で率直な意見交換を深めてもらうことを目的として、町が設置し、NUMOと共同で運営するものであり、この「対話の場」が町の将来の発展に向け、よい議論が交わせる場となるよう願っています。

もちろん将来のまちづくりは、議会でも議論すべき場があることは承知していますが、「将来の町のあり方について町民主体で考えていく」、文献調査をきっかけとして、対話の場をそういった場にしていければと思っています。



<前回の議論の様子>

## ■「対話の場」への期待／今後の進め方

### ○「対話の場」を起点に、町内の議論の輪を広げていく

「対話の場」には、町の政策課題に精通されている町議のみなさんのほか、より幅広い視点で考えていただきたいことから、産業団体や様々な立場の有識者のみなさまにも参加いただくこととしました。

この「対話の場」で議論されたことを起点に、町内に議論の場を広げていきたいと思えます。

特に、若い人ほど、これから10～30年先の寿都ってどういう町になるのだろうか心配する方が多いと思えますので、若年層のみなさまには、例えば「対話の場」の分科会のようなものをつくって議論に参加してもらい、意見をしっかり聞いた中で、これからの町づくりに反映していきたいと考えており、さらには、お子さん達にも分かりやすく、学べる機会をつくっていききたいと思っています。

また、「対話の場」ならびに住民勉強会では、例えば、地層処分事業を推進する専門家や反対する学者を招き、講義や討論を行うことも、みなさんが学び、議論を深めていくうえで、重要な取り組みであろうと考えています。



## ■町民のみなさまへ

### ○不安や心配の声に答えられるように

昨年9月7日から町が開催した住民説明会の場をはじめとして、地層処分事業の安全性、風評被害、処分地選定プロセスにおける町の判断に対する不安や心配の声を多くいただきました。

その際、私は、文献調査の応募にあたり、小学校への入学に例えて、「みなさまとともに地層処分事業について学んでいきたい、基礎から勉強していきましょう」と申し上げてきました。「対話の場」の開催をはじめとして、みなさまの声に真正面から向き合っていきたいと考えています。

そのために、ぜひ、NUMOには、町民からの地層処分事業に関するあらゆる質問などに対し、あらゆる場面で町民のみなさまとのコミュニケーションを大切にしたいと思います。

高レベル放射性廃棄物の地層処分の実現は、寿都町だけの問題ではありません。

こうした寿都町での取り組みの積み重ねが、全国的な議論に一石を投じることにつながり、この議論の輪をどんどん全国に広げていきたい、そのようにも考えています。

みんなで学び、考え、歩んでいきましょう！



【お問い合わせ先】：「みなさまのご来館をお待ちしています」

原子力発電環境整備機構 NUMO寿都交流センター E-mail : [suttu@numo.or.jp](mailto:suttu@numo.or.jp)

〒048-0401 寿都町字新栄町113-1 TEL : 0136-75-7576 (開館時間：平日10時～17時)

FAX : 050-3512-1728

原子力発電環境整備機構(NUMO)

<https://www.numo.or.jp>

NUMO 検索

